



十日町市立田沢小学校 学校だより

# ときめき 田沢っ子

《教育目標 やさしく かしく たくましく》

<https://www.schoolweb.ne.jp/tokamachi/tazawa-e>

TEL 025(763)2018 FAX (763)4419

令和6年10月10日 第13号



## 読書の秋に♪ まんがも読みませんか？

校長 高橋 雅彦

今年のオリンピックでは、活躍した選手が日本のマンガの主人公のポーズでパフォーマンスをする姿がテレビに映りました。日本選手だけでなく、外国選手まで。日本のマンガやアニメーションは、年齢や性別に関係なく世界中で人気があります。今や多くの作品が世界中で翻訳されたり、インターネットを通じて視聴されたりしています。外国人が日本に興味をもつきっかけとして、マンガやアニメーションは大きな貢献をしています。

あるNHKの番組で、オリンピックの行われていたフランスのマンガ喫茶の様子を放送していました。フランス人に聞いた「日本のマンガ人気ベスト5」は以下のとおりです。

- 1位 ONE PIECE (ワンピース)
- 2位 NARUTO (ナルト)
- 3位 ドラゴンボール
- 4位 鬼滅の刃
- 5位 進撃の巨人



誰もが一度は聞いたことのある有名な作品ばかりです。しかも少年ジャンプのものが多いですね。ちなみに私は全作品を持っています。フランスでは最新のマンガからマイナーな作品まで、実にたくさんのマンガがフランス語に翻訳されていました。日本のマンガと外国のマンガはページやコマの進み方が逆になるのですが、読んでいるうちに日本のマンガの読み方に慣れるそうです。

もはや、マンガは子どもだけが読むものではありません。情報館にもマンガ本の蔵書がずいぶんと増えました。ぜひ、面白い作品を手にとって大人の方も読んでみてはいかがでしょうか。大人も子どもも同じ作品を読んで、共通の話題として話し合えたら楽しいと思います。実際、私は休憩時間に子どもたちとマンガやアニメーション、映画作品の話題で盛り上がり、とても楽しい思いをしています。私の夏休みの目標はワンピース全巻（当時は109巻）を読むことでした。残念ながらまだ目標は達成できていませんが、今年中には日本のマンガを代表するこの作品を読み切って、子どもたちとの話題の一つにしたいと思います。 **Let's read a comic book and let's enjoy!**

○私の読んでいるマンガでおすすめの作品を紹介します。

- 「ブルーピリオド」 この夏、映画化されました。東京芸大入学を目指す話で、絵の勉強になります。
- 「宇宙兄弟」 とうとう兄弟が月面に到着し、ミッションに臨みます。もうすぐ連載終了でしょうか？
- 「空挺ドラゴンズ」 空飛ぶ竜を狩る架空の世界の船乗りの魅力的な物語です。絵が独特です。
- 「君と宇宙を歩くために」 2024 マンガ大賞受賞作品です。障害者の理解に役立ちます。
- 「ゴールデンカムイ」 連載は終了しましたが、いまだに人気の高い一大冒険活劇です。
- 「ミステリと言う勿れ」 推理作品で、映画では菅田将暉さんがユニークな主人公を好演しました。
- 「機動戦士ガンダム サンダーボルト」 ガンダムの世界を独自のストーリーと緻密な絵で描きます。

<情報館で借りることができる作品>

- 「薬屋のひとりごと」 中国の後宮で起こる難事件を皮肉屋でかわいらしい主人公が解決します。
- 「税金で買った本」 図書館の日常をユニークに描きます。図書館業務の大変さがよく分かります。

## 《学校の様子》 今回もみんな enjoy したかな! ?



9月26日(木)  
6年生は大地の芸術祭の作品鑑賞。松代・松之山方面に出かけてきました。



9月27日(金)  
1年生は森の学校キョロキョロへ。学芸員さんからたくさん教えてもらいました。



10月1日(火)  
4年生は干溝の森へ。花や実、キノコなど「秋」をたくさん見つけました。



10月3日(木)  
3年生は十日町消防署の見学に。本当に救急車が動して、みんなびっくり!



10月8日(火)  
中里中学校の音楽担当教諭が、異校種体験で5年生と6年生を指導しました。



10月8日(火)  
6年生は中学校体験で中里中に。学校生活の説明会の後は部活動体験です。

## 《舞踊団 Noism (ノイズム) 2 来校》

こども文化芸術体験ステージの出前授業(アウトリーチ)に本校が選ばれ、10月3日(木)、りゅうとぴあ新潟市民芸術文化会館を拠点に活動する専属舞踊団「Noism 2」のダンサーの皆さんが来校され、子どもたちの前で素晴らしいダンスを披露してくださいました。観るだけでなく、体に「はり」をつくる「拮抗」のトレーニングに子どもたちは挑戦しました。希望者がたくさん手を挙げるなど、とても意欲的な子どもたちです。50分ほどの授業でしたが、本物を観て、実際に体験する貴重な機会となりました。なお、Noism 2は11月23日(土・祝)に越後妻有文化ホール段十ろうで公演を行う予定です。無料ですので、先日お知らせした H&S アンケートよりお申込みいただきご覧ください。



## 《職員のおススメの本紹介②》

「水車小屋のネネ」 作:津村記久子 2023 毎日新聞出版

廣川沙織教諭のおススメする本です。この物語は、水車小屋に住むヨウムの「ネネ」に見守られながら、変転していく人々の人生が描かれています。家庭の問題から家を出て2人で暮らすことにした18歳と8歳の姉妹。二人は周りの大人に支えられ、見守られ成長していきます。人々に支えられ大人になった妹が、今度は自然と困っている人に手を差し伸べ、善意がリレーのように次の人、次の人へとつながっていきます。「自分はおそらく、これまでに出会ったあらゆる人々の良心でできあがっている」。ネネは、人と人をつなぐ大事な役割を果たします。2024年本屋大賞第2位、第59回「谷崎潤一郎賞」受賞。

